

産業応用フォーラム

「自動車用パワーエレクトロニクスの急展開」

概要：近年、カーボンニュートラルを目標に自動車の電動化が拡大しています。これは、電気自動車（BEV）、ハイブリッド自動車（HEV）などの電動車両の広がりだけでなく、エンジン車に搭載される電動機器においても同じです。そのため、車載電動機器を駆動制御する自動車用のパワーエレクトロニクス技術が広がるとともに、技術的に広い範囲で急速に展開してきています。さらに、e-mobility と称される各種の電動移動体にも自動車用パワーエレクトロニクス技術が展開しています。自動車技術委員会では、同委員会傘下に「自動車用パワーエレクトロニクスの急展開調査専門委員会」を設置し調査活動を実施してまいりました。本フォーラムでは、調査専門委員会による調査結果を踏まえ、自動車用パワーエレクトロニクス技術の動向を中心に、e-mobility などの周辺技術の動向も含めて、幅広い分野の専門家により解説いたします。この機会にぜひご参加ください。

日時：2024年9月27日（金）13:30～17:00

会場：ルーテル市ヶ谷大会議室（ハイブリッドおよびオンデマンド配信はありません。）

東京都新宿区市谷砂土原町 1-1

JR 総武線（中央線各駅停車）市ヶ谷駅下車、徒歩7分

TEL: 03-3260-8621

<https://www.l-i-c.com/community/access/>

プログラム：

- 13:30-13:35 開会、主催者挨拶
- 13:35-13:45 総論 森本 雅之（モリモトラボ）
- 13:45-14:20 自動車用パワーデバイスの動向 石戸 亮祐（ローム）
- 14:20-14:55 主機のパワーエレクトロニクスの現状 磯部 高範（筑波大学）
- 休憩
- 15:05-15:40 補機のパワーエレクトロニクスの展開 吉本 貫太郎（東京電機大学）
- 15:40-16:10 e-axle の拡大 大口 英樹（東海大学）
- 16:10-16:40 e-mobility と自動車用パワーエレクトロニクス 瀧 浩志（デンソー）
- 16:40-16:55 今後の展望、総合討論 森本 雅之（モリモトラボ）
- 16:55-17:00 主催者挨拶、閉会

司会進行：森本 雅之（モリモトラボ）、米田 昇平（東京海洋大学）

テキスト：電気学会技術報告 1568 号「自動車用パワーエレクトロニクスの急展開」をテキストとして使用します。

希望者は、電気学会電子図書館から各自で購入してください。なお、会場での販売はいたしません。

電気学会電子図書館：<https://www.bookpark.ne.jp/ieej/>

参加費： 会員(正員) ¥8,000- (税込) 非会員(一般) ¥16,000- (税込)

会員(准・学生員) ¥4,000- (税込) 非会員(学生) ¥8,000- (税込)

申込方法：ホームページからお申し込みください。（締め切り9月17日）https://www.iee.jp/ias/d_event/iaforum/

会場定員 60 名で締め切らせていただきます。

問い合わせ先：東京海洋大学 米田昇平 e-mail: komeda@kaiyodai.ac.jp ((at)を@に変えて下さい。)

参加費支払い方法：Web からのクレジットカードのみのお支払いとなります。決済後は Web サイトにて領収書が発行されます。

主催：電気学会産業応用部門 自動車技術委員会（委員長：加藤 崇）

なお、フォーラム終了後、講師の方との意見交換の場として懇親会（会場近くを予定）を企画しております。奮ってご参加ください。参加ご希望の方は、申込フォームの備考欄に「懇親会への参加希望」と明記ください。

●産業応用フォーラム開催までの手順等

- ・産業応用フォーラムの開催につきましては「産業応用フォーラム開催の手引き」を必ずご参照頂き、記載の手順に従い準備をお進めください。
- ・開催案内の作成にあたっては、このファイルの1ページ目のテンプレートをご使用頂き、産業応用フォーラム担当役員へ原稿(案)をお送りください。
- ・参加費および技術報告をテキストに使用する場合のテキスト販売価格の設定につきましては、参考となる記述が「産業応用フォーラム開催の手引き」にあります。そちらをご参照ください。
- ・開催案内原稿(案)をお送り頂く際には「目論見書」も必ずご提出ください。
- ・「産業応用フォーラム開催の手引き」および「目論見書」と「メールマガジン」のテンプレートを産業応用部門 Web ページからダウンロードするには ID とパスワードが必要です。必要な方は、産業応用フォーラム担当役員へお問い合わせください。
- ・原稿(案)提出の〆切につきましては、次項を参照ください。

●ニュースレター原稿（産業応用フォーラム開催案内）の入稿時期

発行号（発行日）	通常記事の入稿時期	飛び込み記事への対応	
	ニュースレター原稿〆	原稿(案)受付〆	最終原稿〆
1月号（1月1日）	11月1日	11月8日	11月15日
2月号（2月1日）	12月1日	12月3日	12月10日
3月号（3月1日）	1月1日	1月8日	1月15日
4月号（4月1日）	2月1日	2月8日	2月15日
5月号（5月1日）	3月1日	3月8日	3月15日
6月号（6月1日）	4月1日	4月3日	4月10日
7月号（7月1日）	5月1日	5月8日	5月15日
8月号（8月1日）	6月1日	6月8日	6月15日
9月号（9月1日）	7月1日	7月3日	7月10日
10月号（10月1日）	8月1日	8月3日	8月10日
11月号（11月1日）	9月1日	9月8日	9月15日
12月号（12月1日）	10月1日	10月8日	10月15日

注意： ニュースレター発行日と産業応用フォーラム開催日の関係で、ニュースレターへの掲載を急ぐ場合に限り、飛び込み記事として最終原稿の〆切日を上表のように若干延長する。その場合、原稿(案)受付〆切日までに、産業応用フォーラム担当役員へ原稿(案)を必ず提出すること。

なお、該当月の休日の関係やニュースレター担当の出張等の都合により、飛び込み記事の最終原稿〆切日を若干早めることがある。その場合は、ニュースレター担当から飛び込み記事担当者に〆切日を事前に連絡する。